

## 南九州市男女共同参画基本計画に基づく令和3年度実施事業の 進捗状況についての評価に対する意見について（報告）

本計画の令和3年度の実施事業の進捗状況に対する内部評価（各担当課，まちづくり推進課及び男女共同参画推進会議）の報告を受けて，信頼性及び客観性を付加する観点から，外部評価として実施しました。

以下，評価に対する審議会の意見として報告いたします。

### 【1. 家族経営協定について】

引き続き家族経営協定の締結促進に取り組むとともに，締結後も協定内容について定期的に見直しを行えるようなフォローアップを関係課で実施していただき，農業者の就労環境整備に繋がっていただきたい。

### 【2. 高齢者サロンの整備について】

高齢者サロンについては，運営側の高齢化も進んでおり過渡期を迎えていると認識している。地域の事業所との協働を推進する，新しい在り方を検討するなどして継続の在り方を模索していただきたい。

### 【3. ハラスメント対策について】

ハラスメントが阻害要因となり，職場や地域において女性が活躍できなかったり，女性が発言等を控えることはあってはならないことである。ハラスメントについて，広く市民にも研修の機会を設けていただきたい。

### 【4. 市職員・審議会委員の各種事業への積極的な参加について】

男女共同参画をはじめとした市の様々な施策は，いかに市民の方々に理解を深めていただくのか，ということが基本となる。市民と行政の協働に向け，まず市職員には市の主催する各種事業への積極的な参加をお願いしたい。

また，審議会委員へも各種事業の情報を共有していただき，市民への意識啓発へと繋がっていただきたい。

---

### 【総評】

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず，「生理の貧困」が話題になるなど，女性の貧困が可視化されることとなりました。

また、都道府県版ジェンダーギャップ指数においても、鹿児島県は、教育43位、行政46位、経済39位、政治46位と国内最下位級にあり、未だ男女共同参画社会の実現に向けて道半ばにあるといえます。

南九州市としても、引き続き男女共同参画社会の実現に向けて計画を確実に実行することで、本市における男女共同参画社会の実現を推進し、鹿児島県のジェンダーギャップ解消にも寄与していただくことをお願いして評価いたします。

令和4年11月14日

南九州市男女共同参画審議会